

特集 地震に備えよう



昨年10月に行われた総合防災訓練

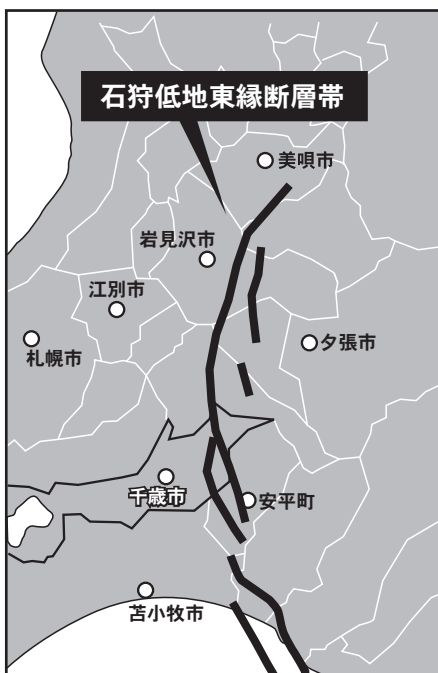


昨年3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方に限らず日本全体に大きな被害をもたらしました。

日本は世界でも有数の地震大国といわれ、今後大きな地震が発生する可能性があります。また、千歳の東側に活断層として「石狩低地東縁断層帯」が確認されており、将来、私たちの身近なところを震源とする地震が発生することも考えられます。

私たちの大切な生命や財産を守るためには、地震などの災害時に役立つ知識を身につけ、さらに自主防災組織に参加するなど、物資、知識、組織づくりの面で十分に体制を整えることが大切です。

今月は地震への備えについて特集します。



◆石狩低地東縁断層帯◆

この断層帯は、美幌市から岩見沢市、長沼町、千歳市、苫小牧市を通り日高町の沖合いまで続きます。

この断層帯全体が活動した場合、マグニチュード8.2もしくはそれ以上、千歳では震度6強から震度7の地震が発生するとされています。

今後30年間の地震発生確率は、0%～0.2%以下と推定されていますが、「0.2%以下」は、発生確率が「やや高い」グループとされており、千歳でも大きな地震が発生する可能性があります。